

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長 和田 一広		
行経-07	実施事業	財産管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	公的不動産活用課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	財政課・文化財課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営	

1 事業の目的

対象	市有財産等
意図	財産管理に係る運営事務を行うとともに、土地等の売り払い等による収入の確保、公共施設整備基金への積立てを行うため。
効果	普通財産土地等を良好な状態で維持管理するとともに、売り払い等による収入の確保を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市有財産評価審査会の運営及び地価変動率予測意見書の作成業務を行った。 普通財産土地・建物の貸付け及び枝払い等管理事務、市有青地・廃道路敷等の売り払い及び交換事務、未利用地等の管理事務を行った。 玉縄三丁目3番先災害本復旧に係る地質調査・設計業務委託は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。 公共施設整備基金を管理し、計画的に基金を積立てた。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	30,451	320,014	当初予算(千円)	96,954
	国県支出金			国県支出金	
	地方債		108,800	地方債	
	その他	19,155	59,090	その他	20,732
	一般財源	11,296	152,124	一般財源	76,222
	人員配置数	4.7	4.9	人員配置数	5.8
			会計年度任用職員配置数	1.0	
事業経費運営	人件費(千円)	36,828	39,408	人件費(千円)	48,523
	総事業費(千円)	67,168	359,422	総事業費(千円)	145,477
	市民1人当りの経費(円)	381	2037	市民1人当りの経費(円)	824
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済	<input type="radio"/> 2. 適正な受益者負担を導入している
			△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> △. 協働未実施	
			協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	見直しの内容
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒		<input type="checkbox"/> その他
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	財産管理者としての義務(維持管理等)を履行するための経費として、現状の予算規模を維持し、効率的に事業を執行する必要があるため。また、災害時の対応(倒木や土砂崩れ)を迅速かつ着実に実施するため。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産の管理(枝払い、境界確定等)について、市民要望への対応も含め、適切に実施できた。 台風等による災害対応(倒木や崖崩れ)の機会が増えており、財政的な担保が必要なことから、予算規模の現状維持は妥当と考える。 		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 旧長谷子ども会館について、関係課等との協議、調整を踏まえた利活用の方針決定 売却が進んでいない未利用地が残っている。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 旧長谷子ども会館について、事業の実施を希望する団体と、費用を含めた協議を行った。 未利用地の売却に向け、不動産鑑定評価を委託により実施した。また、現在売却中の土地に案内の掲示を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 売却が進んでいない未利用地が残っている。 普通財産で、新たな崩落の恐れのある法面が見つかっている(城廻)。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向						備考
		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	
当該指標を設定した理由								
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--